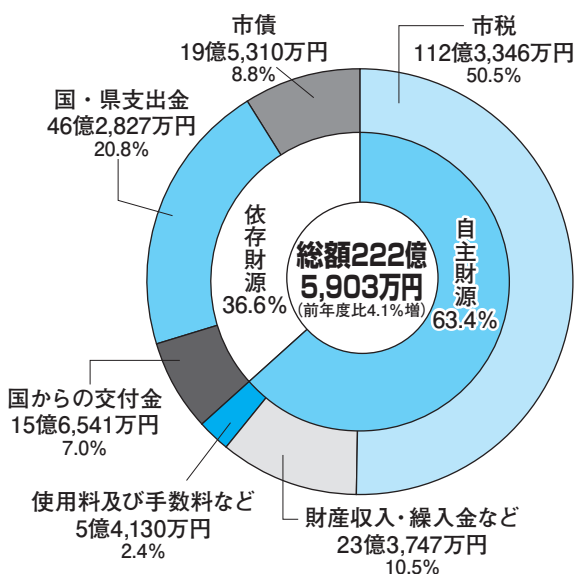


実質収支は総じて黒字だが、依然厳しい財政状況。大切な税金の使い道を厳しくたす。

平成25年度決算を認定

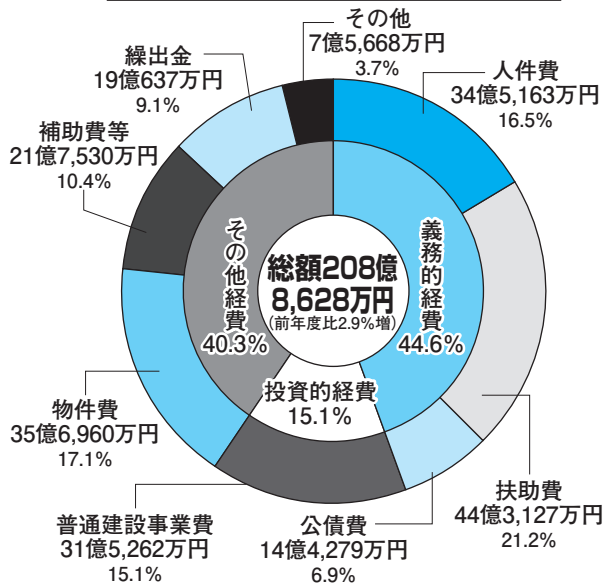
平成26年9月定例会は、9月5日から30日まで開かれ、平成25年度一般会計及び特別会計などの決算認定7議案と、26年度補正予算、条例の改正など合計23議案が提出されました。

一般会計歳入決算の内訳



個人市民税	48億2,640万円
法人市民税	5億6,122万円
固定資産税	43億5,920万円
軽自動車税	9,356万円
市たばこ税	4億3,803万円

一般会計歳出決算の内訳



一般会計	164億9,412万円
特別会計	84億1,955万円
企業会計	13億4,997万円
合計残高	262億6,365万円

主な歳入(財源)

()内は対前年度比

市税 個人・法人市民税、固定資産税、軽自動車税、たばこ税等 112億3,346万円 (8,368万円増)	市債(市の借金) 建設事業及び財源確保などに充てるために借り入れる借金 19億5,310万円 (1億8,880万円増)
繰入金 基金(市の貯金)の取り崩しや他会計から繰り入れるお金 2億9,289万円 (5億4,412万円減)	地方交付税 税収入の不均衡による財政格差を調整するため国から交付される 4億7,113万円 (6,637万円増)
財産収入 土地などの資産を売却して得るお金 1億6,641万円 (1億4,442万円減)	国・県支出金 国・県が負担するお金 46億2,827万円 (7億6,242万円増)

決算の特徴

- ◇歳入歳出の差額から翌年度へ繰り越すべき財源を差し引いた実質収支は一般会計・特別会計をあわせて15億4,816万円余の黒字。
- ◇個人市民税は前年度比3.8%増収。法人市民税は前年度比31.1%の減収。
- ◇昨年度に引き続き、普通地方交付税の交付団体。
- ◇知立連続立体交差事業は、総事業費615億円(市負担は約107億円)のうち、平成25年度末までの事業実績は約147億円(進捗率約24%)。平成35年度完了予定。
- ◇知立駅周辺土地区画整理事業は、総事業費約197億円(市負担は105億円)のうち、平成25年度末までの事業実績は約105億円(進捗率約50%)。平成38年度完了予定。

